

第4章 蘭牟田池の環境保全基本計画策定

4.1 蘭牟田池での展開方針

蘭牟田池は、ラムサール条約登録時点と比較すると、優占種の交代や泥炭地面積が減少するなど、自然環境や生態系が大きく変化しています。また、国の天然記念物（泥炭形成植物群落）に指定されていることも踏まえ、新たに「蘭牟田池環境保全基本計画」を策定し、外来魚・外来生物の駆除、在来生物の保護に取り組むなど、積極的な環境保全活動の実施により、ラムサール条約登録時点の環境に再生することを目指します。

加えて、自然環境が有する多様な機能を活用した「グリーンインフラ」を活用し、周辺環境の整備や、環境保全活動を担う人材育成及び活動に必要な資金確保を図ります。

今後、地域の人々の生業や、生活バランスの取れた環境保全を持続的に推進するため、ラムサール条約の目的である「保全・再生」、「ワイズユース（賢明な利用）」、これらを促進する「交流、学習」を積極的に展開します。

～ 基本理念 ～

ラムサール条約登録湿地の持続的保全と陸・池・空で体験する本物自然 リアルネイチャー

方針1：官・民・地域協働による環境保全活動の推進

貴重な自然環境を維持するため、官・民・地域協働で持続的な環境保全活動の展開を図ります。

方針2：環境保全活動を担う人材育成

既存の生活圏と自然環境保全区域との「ゾーニング区分」を明確にするとともに、その重要性を継承・啓発できる人的資源の確保を官・民・地域協働で行います。

方針3：多様な主体が参画する環境保全活動資金の確保

環境に配慮したプロジェクトに興味のある民間投資家からの初期支援（グリーンボンド等）や不特定多数の賛同者から支援を頂くクラウドファンディング、縁のある地域へ恩返し等ができる企業版ふるさと納税等を活用し、「ラムサール条約登録湿地」の陸・池・空の本物自然体験を行う環境を整備し、収益の一部を持続的な環境保全活動に充てる仕組みを構築します。

4.2 藺牟田池周辺のゾーニングイメージ

泥炭地の特性を踏まえ、生物生息域に影響を受ける現況地形の改変は可能な限り行わず、既存施設を活用しながら、良好な景観形成や地域の魅力醸成に配慮した蘭牟田池周辺のゾーニングイメージを、次のとおり設定します。

【Aゾーン：自然環境保全区域】

外輪山で囲まれた水源涵養保安林、国の天然記念物でもある泥炭形成植物群落を含むエリア。自然環境の保全を基本としながら、民間資本等も視野に入れた賢明な利用に取り組みます。

【Bゾーン：民間の施設・遊休地の利活用検討】

民間による既存店舗や民地・農地等の遊休地が点在しているエリア。
時代や地域ニーズ等にも配慮し、民間資本等による新たな活用手法を検討します。

【Cゾーン：公共施設の利活用検討】

生態系資料館アクアタイム、キャンプ場等、公共施設のエリア。
既存資源を活用しながら、民間資本等も視野に入れたリニューアル等、再利用計画を推進します。

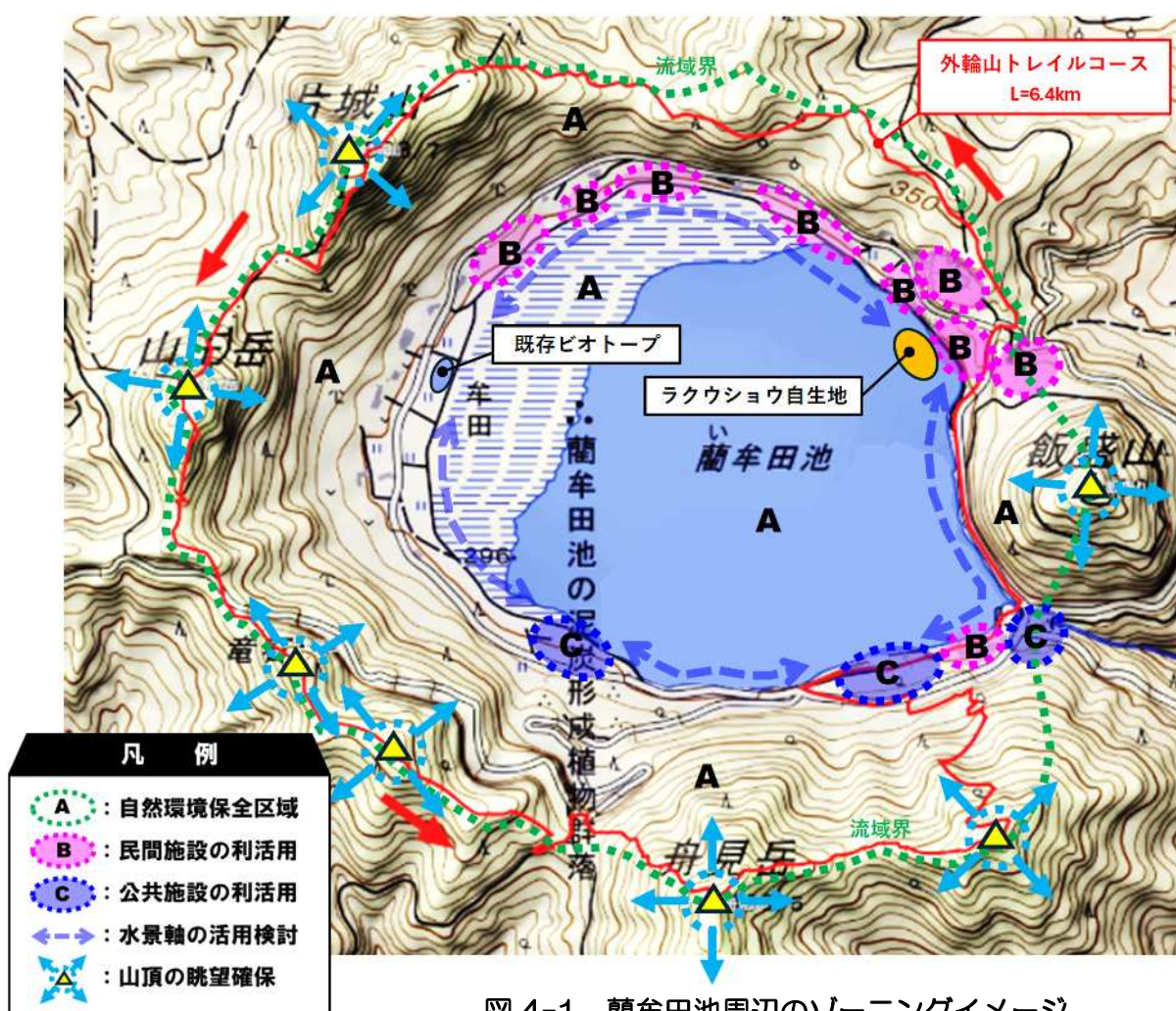


図 4-1 藺牟田池周辺のゾーニングイメージ

4.3 エリア別の自然体験メニュー

近年のコロナ禍により自然体験やアウトドア志向が高まりましたが、アフターコロナの動向としては、本物でなければ、人々は「まちなか」に戻ることが懸念されます。

蘭牟田池には、ここでしか味わうことのできない「本物の自然」が集中しているエリアであり、特にアウトドア初心者や家族連れはもとより、上級者も対象とした「自然体験活動のポテンシャルが非常に高い地域」です。

当該地域で可能と考えられる自然体験のメニューを、エリア別にまとめます。

(1) 陸エリアでの自然体験メニュー

- ・ 蘭牟田池周回道路（散歩、マラソン、ジョギング、サイクリング等）
- ・ 外輪山（登山、トレイル等）、湖畔キャンプ、蘭牟田ボルダー
- ・ 外輪山（水源涵養保安林）の散策、森林浴（自然観察・環境学習）
- ・ 生態系保存資料館アクアイム（自然観察・環境学習）

(2) 池エリアでの自然体験メニュー

- ・ 水上アクティビティ（ボート、ヒーリングカヌー等）
- ・ 泥炭形成植物群落、ピオトープ（自然観察・環境学習）

(3) 空エリアでの自然体験メニュー

- ・ 愛宕ピスタパーク（パラグライダー等）（カルデラ湖学習）
- ・ 外輪山からの眺望、ジップライン（カルデラ湖学習）



図 4-2 用途別エリア計画

4.4 蘭牟田池環境保全計画の推進 ～蘭牟田池スタイル～

ワークショップにて大別された8分野の代表項目と、e まちアンケート結果を反映した推進項目及びその具体策の提案の概略図と、次項にその詳細を示します。

今後、蘭牟田池環境保全計画の推進に当たり、「地域の生業」も含めた当該地域でしか推進できない「グリーンインフラ」の多彩な展開を図り、各分野への資金面も含めた横断的な連携施策により、持続可能な「蘭牟田池スタイル」の構築を図ります。

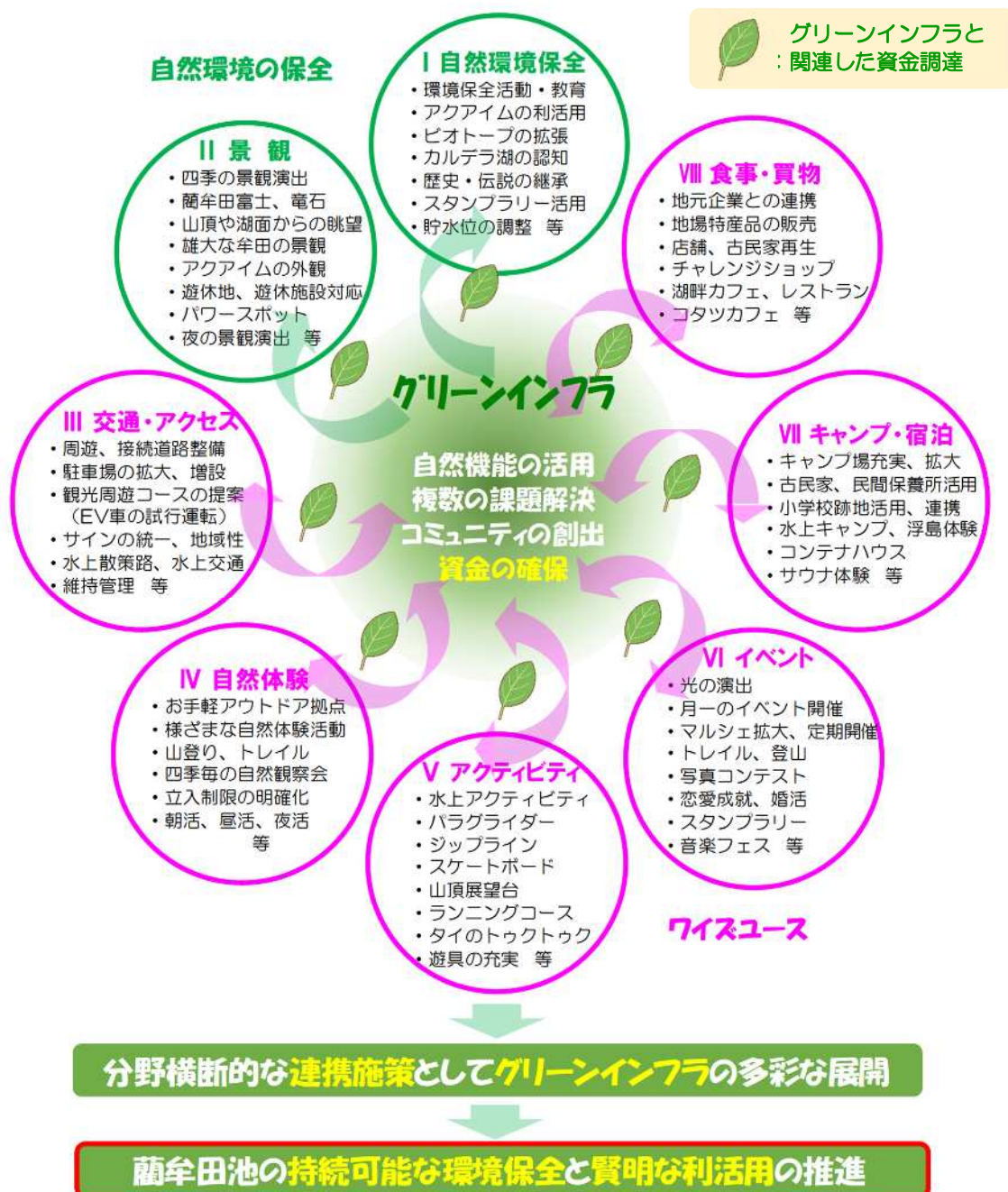


図 4-3 蘭牟田池環境保全計画の推進 ～蘭牟田池スタイル～

(1) 自然環境保全分野

Action I -1

蘭牟田池の外来種対策の推進

蘭牟田池に生息する外来種は、これまでの生態系調査報告より、植物、魚介類、鳥類、爬虫類等で確認され、蘭牟田池内の貴重な既存種を保全するため、生態系専門家の意見も踏まえ、継続した調査や効果的な外来種対策を推進します。

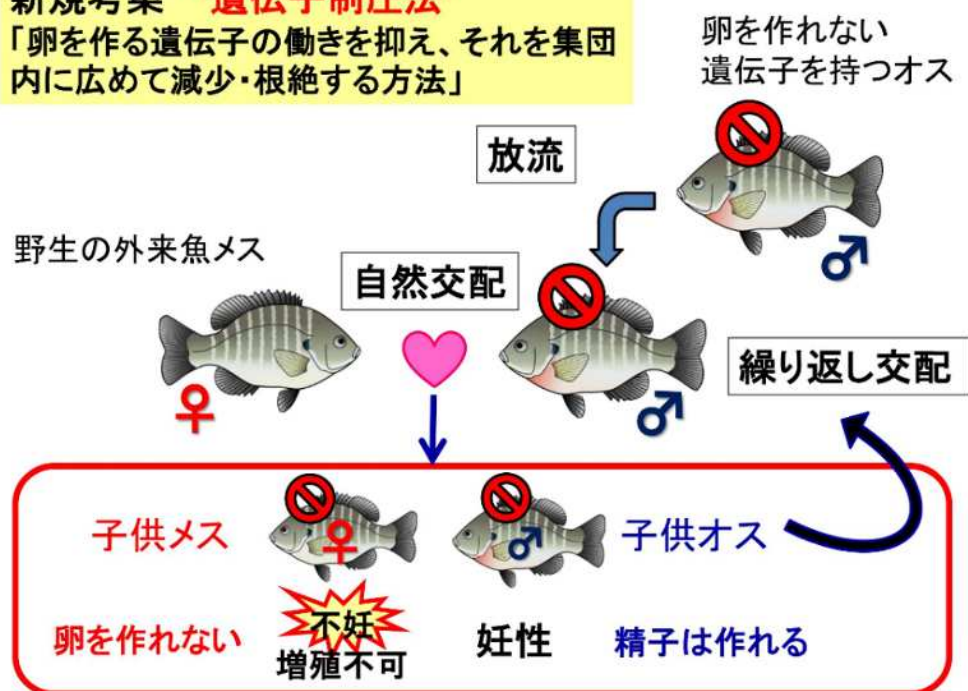
【主な取組例】

- ・繁殖力のあるキシノウエ等移入植物の駆除
- ・泥炭地に繁茂し、陸地化の恐れのあるヤナギの計画的な伐採
- ・外来種を減少させる在来種を増やす
(絶滅したジュンサイ、泥炭の基となるヨシ、マコモ、アンペライ等の移植)
- ・外来魚駆除マニュアル(H22)に基づく網等を使用した積極的な駆除事業
- ・外来魚釣り大会等による駆除
- ・川内川等から蘭牟田池在来魚種の放流
- ・特定外来魚(オオクチバス・ブルーギル等)を根絶するための新たな技術開発等の活用

(新たな技術開発が研究されており、注視しながら活用の検討を行う)

新規考案 “遺伝子制圧法”

「卵を作る遺伝子の働きを抑え、それを集団内に広めて減少・根絶する方法」



外来魚を根絶する遺伝子制圧法※4.1)

※4.1) 「遺伝子編集技術を用いた不妊化魚による外来魚の根絶を目的とした遺伝子制圧技術の基盤開発」
研究代表者：岡本裕之（国立開発研究法人 水産研究・教育機構）、協働研究機関：三重大学

Action I -2

生態系保全と営農に配慮した蘭牟田池の貯水位の調整

蘭牟田池に流入する河川は無く、池の水源は雨水のみの現状です。近年の気候変動により、局所的な豪雨や長期的な長雨に伴う増水及び渇水等、生態系に及ぼす影響の深刻さが問題視されています。一方、利水面では、農業用水に活用されていることより、営農形態に伴う流量確保は必須であり、生態系と営農が共存できる適正な貯水位の調整を行います。

【主な取組例】

- ・ 営農形態に配慮した貯水位の設定⇒関係団体との調整：水不足の緩和
- ・ 生態系に影響を及ぼす貯水位の把握⇒生態系の専門家との調整：環境保全



泥炭地と蘭牟田池の貯水位



既存の取水樋門



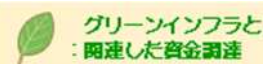
現状の越流式余水吐き（蘭牟田池）



水位調整施設（転倒堰）の事例

Action I -3

環境学習の場となる施設の拡張と利活用の検討



既存のビオトープについては、定期的観察や生態系保全に対しての効果が確認されていますが、蘭牟田池の泥炭形成地（牟田）の全体面積と比較すれば、極小レベルです。これまでの経験や実績を活かすとともに、環境学習の場としても活用ができる観察路の設置や、人工飼育施設を含めたビオトープの拡張等、専門家の意見を踏まえたワズユースとしての更なる利活用手法を検討します。

【主な取組例】

- ベッコウトンボ等の貴重生物の観察路設置の検討⇒牟田内への遊歩道設置
- 泥炭形成地の保全・再生、流出防止対策の検討⇒牟田内への遊歩道設置（遊歩道は、文化財保護、生態系保全等の観点より、学識者等の調整が必要）
- ビオトープの拡張手法の検討
- 自転車道と分離された安全な遊歩道・観察路としての機能向上
- 生態系に配慮した通行制限や有料化の検討
⇒収益の一部を環境保全費等へ充当 等



蘭牟田池の既存ビオトープと泥炭地（R5.8）
【ラムサール条約登録湿地】



尾瀬ヶ原の遊歩道（群馬県）
【ラムサール条約登録湿地】



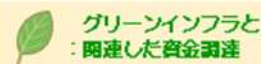
蘭牟田池の泥炭地（R5.11）
【ラムサール条約登録湿地】



奥日光の湿原 自然観察会（栃木県）
【ラムサール条約登録湿地】

Action I -4

アクアタイムのリニューアル及び利活用の促進



藺牟田池の玄関口に位置する様々な情報の発信源となるべき施設「アクアタイム」のリニューアル及び民間活力等による利活用促進を、生態系専門家の意見等も踏まえ、検討します。

【主な取組例】

- ・ 藺牟田池固有の生態系に関する展示及び案内手法の検討
- ・ 自然環境保全や生態系に関する学習・教育の場の提供
- ・ 周辺地域の歴史・伝説、自然体験や観光案内の場の提供
- ・ 生態系資料館とカフェ・レストランの併設検討
- ・ 生態系資料館とコワーキングスペース※4.2) の併設検討
- ・ 藺牟田池に特化したお土産・グッズ販売等の検討
⇒収益の一部を環境保全費等へ充当
- ・ 企画に賛同して頂ける方々や企業等からの資金調達検討
(クラウドファンディング、企業版ふるさと納税等⇒民間資本の活用)



世界淡水魚園水族館 アクア・トドぎふ（岐阜県）



AQUU GARDEN（ソウル）



SNS 映えする四国水族館（香川県）



カフェ型水族館ジュエリーアクアリウム（埼玉県）



※4.2) コワーキングスペース：年齢や性別など関係なく、異なる職業や仕事を持った利用者たちが同じ場所で机や椅子、ネットワーク設備などをシェアしながら、仕事をする場所

<https://www.smbc-card.com/hojin/magazine/bizi-dora/general-affairs/coworking-space.jsp>

(2) 景観分野

Action II -1

四季の自然景観や貴重な動植物と触れ合える景観の維持

グリーンインフラと
関連した資金調達

春の桜や、秋の紅葉・ラクウショウ、冬の気嵐、泥炭地形成植物群落等の四季の自然景観、ベッコウトンボやハッチョウトンボ、近年、蘭牟田池周辺にて生息が確認されたヒメボタル等、貴重な動植物と触れ合える景観を維持します。

イベント開催場所、開催時期については、生態系の専門家との調整が必要です。

【主な取組例】

- ・ 四季の景観を彩る樹木の管理や植栽の推進
- ・ 希少な動植物の説明表示看板等の設置
- ・ 桜の天狗巣病対策の実施
- ・ 有料による観察会、写真撮影会の開催⇒収益の一部を環境保全費等に充当
- ・ 期間限定でのイベント開催に対する入場料徴収の検討⇒環境保全費等へ充当
- ・ 蘭牟田池会員制ファン倶楽部「蘭牟田池ネイチャー倶楽部（仮称）」の形成
⇒プッシュ型（携帯電話に直接、連絡が届く手法）による
自然環境やイベントの情報等を発信



蘭牟田池の気嵐

© 奥平 幸雄



蘭牟田池の湖面に映える紅葉

© 薩摩川内市



蘭牟田池周辺で確認されたヒメボタル

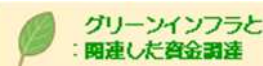
© 松若 隆幸



ラクウショウ

Action II -2

外輪山登山へと誘う良好な景観形成の推進



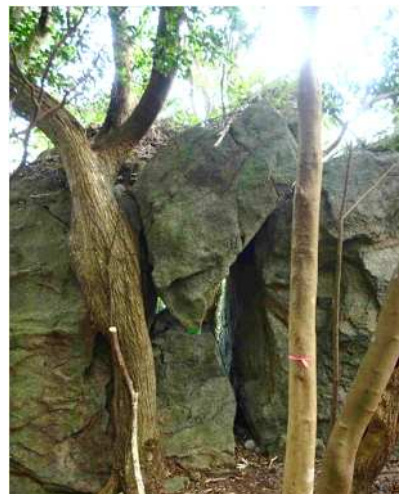
蘭牟田池の外輪山は、全ての山を登ると5時間程かかりますが、途中、ショートカットして、池の淵に通じる道路に下ることができます。体力やその日の体調に合わせて、自然観察を行いながら手軽に登れるファミリー登山、アウトドアビギナー等にも適した「低山ハイク」の拠点として誘客を図ります。

【主な取組例】

- ・山頂部に到達した際の達成感を満喫できる眺望の確保⇒樹木の伐採・展望台（霧島連山や桜島、紫尾山系、川内川河口、甑島等の眺望が可能）
- ・巨石や巨木を活用した新たな視点場の確保、サイン・案内板の設置検討
- ・「低山ハイク」のファン層構築へ向けた取組み、情報発信
- ・「入山登録証」の発行と登山の有料化の検討⇒環境保全費等へ充当



竜石：山頂から霧島山系が見える眺望



山王岳：山頂周辺の巨木と巨石



片城山：山頂周辺から見える川内川河口と甑島（左）、紫尾山系の眺望（右）

Action II -3

竜石伝説に触れる恋愛成就のパワースポット誘致

グリーンインフラと
関連した資金調達

男竜・女竜伝説に触れ、竜石の尾根が眺望できる視線軸上に、恋愛成就や五穀豊穡、災害絶滅等を願うパワースポットとなる神社等を建立し、蘭牟田池の新たな観光拠点（景観軸）として、誘客を図ります。

【主な取組例】

- ・ 竜石尾根が眺望できる場所にパワースポットを創出
- ・ 関連する神社等において、恋愛成就及び水神、豊作祈願の手法検討
- ・ 恋愛成就に関する物品やお土産物等⇒利益の一部を環境保全費等費へ充当



竜石の尾根が眺望できる視線軸上にパワースポットの建立



天橋立の水際の鳥居（京都府宮津市）



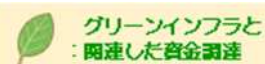
波戸岬のハートのオブジェ（佐賀県唐津市）



■ 近傍の夫婦竜橋
（旧竜仙館上流）

Action II -4

遊休地、遊休施設、休耕地、既存店舗のリニューアル



今回、蘭牟田池周辺の各既存施設にヒアリングおよび現地調査を実施し、当計画の方針等を説明させて頂き、意見交換を行いました。今後、ラムサール条約登録湿地として相応しい景観や機能を目指した民間活力等によるリニューアルや、その手法を各関係者と共に検討します。

【主な取組例】

- 対象施設及び対象場所の選定
- 施設の一部または期間限定のリース等の検討
- Wi-Fi 等、通信環境整備の推進
- 草木が繁茂している遊休地、休耕地の活用
- チャレンジショップ等による運営手法の検討
- リニューアルに伴う資金調達手法の検討
- 民間活力の利用⇒Win-Win の関係性構築⇒持続可能な地域振興



旧いこいの村いむた池のアウトドアにも活用できる前庭と貸店舗も可能な施設状況

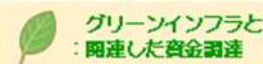


民間事業者研修所の施設状況

(3) 交通・アクセス分野

ActionⅢ-1

イベント時の蘭牟田池周遊交通の確保



イベント時の片側駐車への対策として、蘭牟田池の有する歴史的資源やビオトープへの誘因を図るとともに、全周観光を目指した臨時の周遊交通を検討します。

【主な取組例】

- ・ 蘭牟田池の周遊観光を兼ねた乗合車両（タイのトゥクトゥク等）の検討
- ・ 新交通システム（EV）、キックボード等の導入による話題性の提供
- ・ 運賃及び食の提供の有料化⇒利益の一部を環境保全費等へ充当



タイのトゥクトゥク
（薩摩川内市 民間）



電動キックボード
（蘭牟田池）



ちゅらまーい 小型 EV 車
（沖縄県）

ActionⅢ-2

イベント時の駐車場対策の推進

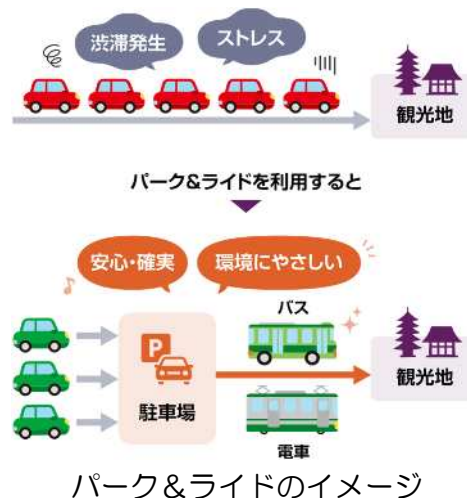
令和5年5月に開催された「蘭牟田池マルシェ」では約 2,000 名の来場者が確認されましたが、既存の駐車場は満杯となり、湖面の周回道路の片側車線への自然駐車が発生しています。今後、新たに駐車場を整備するだけの広大な土地取得は厳しい現状でもあり、同様なイベントを開催する際の駐車場対策に取り組みます。

【主な取組例】

- ・ 周回道路の一方通行規制による一車線を潰した片側駐車場の確保
- ・ 近傍の駐車場や広場に車を止め、人のみを運搬⇒パーク＆ライドの検討
- ・ 駐車場料金や運賃の有料化の検討
⇒利益の一部を環境保全費等へ充当



片側車線への自然駐車



(4) 自然体験分野

ActionIV-1

四季毎の自然観察会の推進

蘭牟田池の貴重な動植物を活かした四季毎の自然観察会の開催を推進します。

【主な取組例】

- ・ 自然観察会の開催時期や実施主体の設定・検討
- ・ 写真コンテストの同時開催（年間記録の保存）
- ・ 参加費の徴収を検討⇒イベント経費及び収益の一部を環境保全費等に充当



自然観察会（日光市）



野鳥観察（蘭牟田池）

ActionIV-2

立ち入り制限の明確化と適正なルールに見える化の検討

蘭牟田池内に張られたロープや泥炭地周辺にて、立ち入り制限の認識が普及している現状です。今後の蘭牟田池の湿地保全とワイズユースへ向けて、立ち入り制限の明確化と条例制定など禁止行為のルールについて見える化を検討します。

【主な取組例】

- ・ 各関係機関との協議及び調整
- ・ 立ち入り制限の明確化によるワイズユースの推進
- ・ 蘭牟田池の禁止行為等を明確にした条例制定等の検討



泥炭地（浮島）

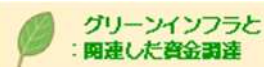


池内に張られているロープ

(5) アクティビティ分野

Action V-1

水上アクティビティの推進



蘭牟田池を代表する水上アクティビティとして、手漕ぎボートが長年、親しまれてきましたが、時代の経過やアウトドア人気の傾向及び安全対策等を踏まえた運営手法も含め、新たな水上アクティビティを推進します。

【主な取組例】

- 水上アクティビティのインストラクターの人材育成、安全教育、雇用の推進
- 水上アクティビティの資金調達や運営主体の検討



いむた池を代表する水上アクティビティ（手漕ぎボート）

Action V-2

陸上アクティビティの推進

蘭牟田池周辺の陸上アクティビティの代表として、家族やアウトドアビギナーを対象とした「お手軽アウトドア体験」の低山登山、キャンプ、ボルダリング等の陸上アクティビティを推進します。

【主な取組例】

- 「お手軽アウトドア体験」のメニュー構築及び情報発信
- アウトドアインストラクターによる自然体験（有料化の検討）⇒ 収益の一部を環境保全費等に充当
- 「お手軽アウトドア体験」のファン層の構築（年会費の検討）⇒



低山登山（蘭牟田池）



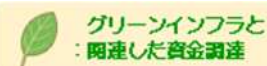
キャンプ（蘭牟田池）



ボルダリング（蘭牟田）

Action V-3

空中アクティビティの推進



蘭牟田池の外輪山「竜石」からは、蘭牟田池の全景や桜島・霧島山系も一望できる場所であり、民間活力による空中アクティビティとしての誘客を推進します。

【主な取組例】

- ・外輪山山頂の眺望の確保
- ・民間活力による外輪山ルートに近接したジップライン（トンボ体験）を設置検討
- ・パラグライダーの運営手法の検討
- ・インストラクターの人材育成⇒雇用の創出
- ・パラグライダー体験の有料化の検討⇒収益の一部を環境保全費等に充当



パラグライダー（蘭牟田池上空）



竜石からの眺望



ジップライン（高知県）



シースルー展望台（中国：石林峡）

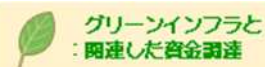


フォレストアドベンチャー（曽於市）

(6) イベント分野

ActionVI-1

蘭牟田池での昼のイベント活動の推進



令和5年5月に蘭牟田地区コミュニティ協議会やNHK わけもんラボEチームが協働で試行された「いむた池マルシェ」は大盛況で実施され、蘭牟田池のポテンシャルの高さが実証されています。今後も、蘭牟田池の自然環境を活かした昼のイベント活動を推進します。

【主な取組例】

- 地元の生業や企業との連携、出店して頂くキッチンカー等の協力要請
- 参加料や出店等に関する収益の一部を環境保全費等に充当を検討



第1回 いむた池マルシェの様子（2023年5月21日）

ActionVI-2

蘭牟田池での夜のイベント活動の推進

冬場の落葉した池畔林を活用したクリスマスツリーや光る浮島等、水面に映える光のイルミネーションにより、新たな夜のイベント活動を推進します。

開催場所、開催時期等については、生態系の専門家との調整が必要です。

【主な取組例】

- 落葉樹のクリスマスツリー、浮島型ツリー等の検討
- 資金調達手法の検討⇒民間活力、入場料の徴収、事前チケットの販売
- 多様なイベントとの複合開催（集客増による資金確保）



玉川学園のクリスマスツリー（東京都）



TDSの浮島型ツリー（東京都）

ActionVI-3

体験型イベントや野外スポーツによる誘客強化

蘭牟田池周辺の自然フィールド、既存ステージ等を活用した集客力のあるイベントや地域資源を活用したイベントの推進により、蘭牟田池の認知向上及び誘客強化を図ります。



スケボー（千葉県）



梅マラソン大会

【主な取組例】

- 音楽フェス、野外活動、スケートボード、マラソン大会、ボルダリング大会、キャンプ等のイベント開催
- イベント参加費の徴収を検討
⇒運営費及び収益の一部を環境保全費等に充当



ActionVI-4

環境保全に関する体験型イベントの推進

蘭牟田池の四季を通した自然観察会の実施や、外来魚駆除にキャンプ体験やフィッシング大会等、体験型イベントの組合せを推進し、ラムサール条約登録湿地の認知向上と、自然環境保全に関する普及啓発を図ります。

【主な取組例】

- 四季折々の景観や歴史等を楽しむガイド付き自然観察会
- キャンプ体験を追加したフィッシング大会
- 外来魚（ブラックバス、ブルーギル）の試食会⇒白身の魚で美味
- 参加費の徴収を検討⇒イベント運営費、収益の一部を環境保全費等に充当



自然観察会（長野県）

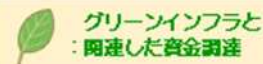


外来魚駆除大会

(7) キャンプ・宿泊分野

ActionVII-1

キャンプ場の充実・拡大



コロナ禍も落ち着き、人々の活動場所がアウトドア志向からまちなか志向へ回帰する兆しが見える中、ビギナーでも手軽に本物自然を体験できる湖畔のキャンプ場の充実・拡大を、民間活力も視野に入れて推進します。

【主な取組例】

- ・ キャンプ場の拡大（外輪山登山ルートや蘭牟田ボルダー等への展開）
- ・ サウナ体験（バレルサウナ等）、浮島体験（水上キャンプ）
- ・ 既存資源を活用した宿泊所設置の推進
- ・ キャンプ場、アウトドアスポーツを一元管理するプラットフォームの検討
- ・ 各施設利用に関する有料化の検討⇒収益の一部を環境保全費等へ充当



湖畔に接するキャンプ場（長野県千代田湖）



バレルサウナ（樽型サウナ）

ActionVII-2

手ぶらで行ける「お手軽キャンプ」の推進

蘭牟田池周辺は、陸・池・空の自然体験を満喫できる「アウトドア資源の宝庫」です。特に、家族連れやアウトドアビギナーにも配慮した手ぶらで行ける「お手軽キャンプ」をキャッチフレーズに、民間資本等を活用し、本物志向の自然体験場所として観光客誘致を推進します。

【主な取組例】

- ・ アウトドアショップの誘致（カフェ、レストラン棟の併設）
- ・ アウトドアや生態系に関するインストラクターの育成
- ・ 施設利用の有料化の検討⇒収益の一部を環境保全費等へ充当



キャンプ道具のレンタル

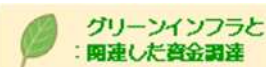


アウトドアショップの誘致（南阿蘇）

(8) 食事・買物分野

ActionⅧ-1

既存資源を活用した食事処・買物の場を推進



自然観察会等の誘客を進めるため、民間資金等の活用も視野に入れ、湖畔の店舗や古民家等の既存資源を活用した食事処（カフェ、レストラン）・買物の場（ショッピング）の確保を推進します。

【主な取組例】

- 地域の食材や特産品等を活用した地場産メニューの構築
- 各イベントとコラボしたスタンプラリーの実施を検討
- 食事処・買物の場としての資格や法的基準の調査
- 既存資源のリニューアル化費用（民間活力、クラウドファンディング等）



収穫した野菜でのピザ作り



古民家カフェの事例

ActionⅧ-2

民間資本を活用した食事処・店舗運営の支援を検討

地域の生業との連携も踏まえ、地域の民間資本を活用した食事処・店舗の運営について支援を検討します。また、必要に応じて、有名アウトドアメーカーの誘致等へ向けた取組を検討します。

【主な取組例】

- コンペ方式による企業提案募集
- 民間によるカフェや飲食店設置（チャレンジショップ）
- 施設利用の有料化の検討⇒収益の一部を環境保全費等へ充当



民間カフェの誘致（指宿市）



コンテナ型チャレンジショップ



SHOP&HOUSE（尾道市）
（2F:宿泊）
（1F:店舗）

四季折々の「山光水色」が楽しめる蘭牟田池

春



竜石と山桜



池畔の山桜巨木



ベッコウトンボ



星空と山桜



月と
ベッコウトンボ



夜 桜



ヒメボタル



紫陽花と白鳥



池畔の落羽松

夏

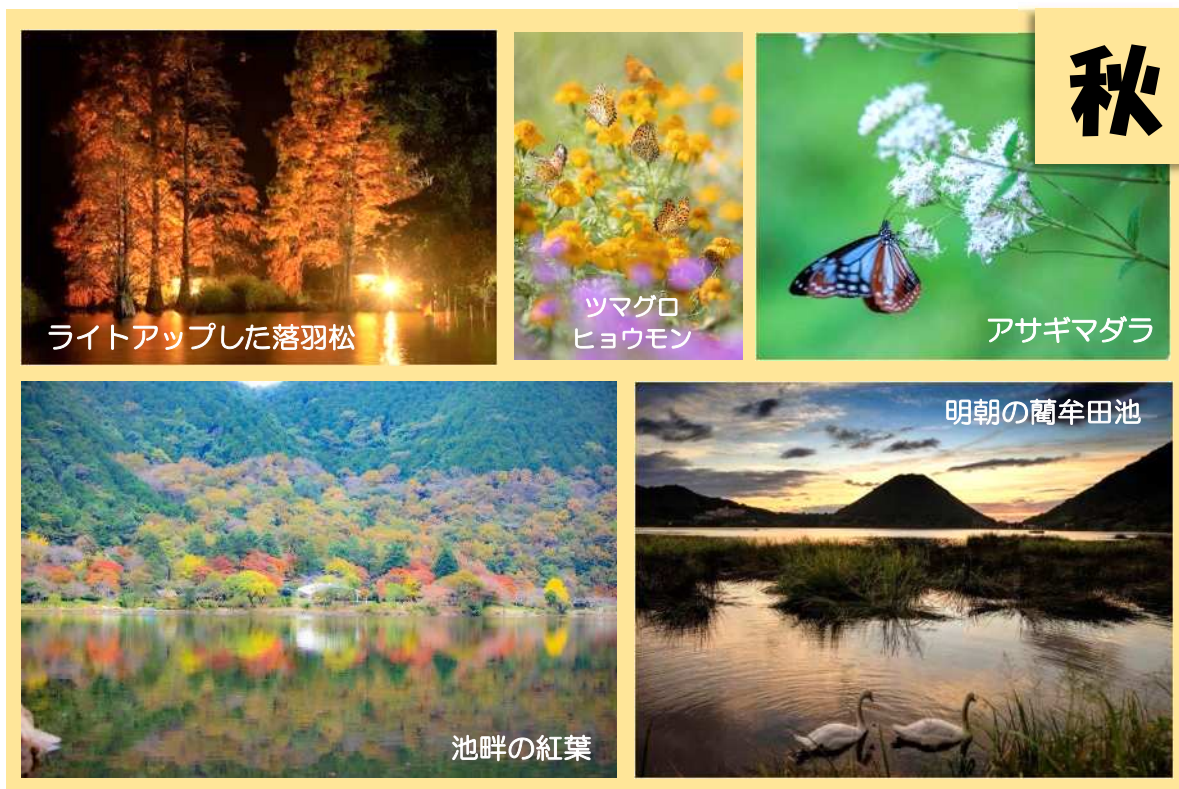


竜石と天の川



チョウトンボ

【写真提供：フォト倶楽部写楽 代表 松若 隆幸氏】



ラムサール条約登録湿地の持続的保全と



陸・池・空 リアルネイチャー で体験する **本物自然** のイメージ

※）各アクティビティや施設整備箇所については、自然環境保全やワズユース（賢明な利用）も踏まえ、各関係者と共に、今後、協議・検討して行く予定

